

平成 30 年度

総合政策部の取り組み実績

<部の構成>

企画課、財政課、ひらかた魅力推進課、行革推進課

1. 重点施策・事業

(1) 総合計画・総合戦略の進行管理について

方向性	長期的かつ計画的な行政運営を推進するため策定した「第5次枚方市総合計画」や、平成30年3月に新規事業や重要業績評価指標を追加した「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に向けて、施策評価制度等による進行管理を行うとともに、さらなる実行性の確保に取り組みます。
取り組み	計画や戦略に掲げる施策を着実に進めるため、外部評価員などからの意見・提案を取り入れながら検証・評価を行い、必要に応じて次年度事業の改善・見直しを行うことで計画の実行性を高めていきます。加えて、施策評価が定住促進に資する効果的な政策形成に結びつくよう、施策評価と事務事業実績測定の関連性の強化や、より適切な評価指標の設定へ向けた研究を進めます。 《目標値》（平成31年度）本市への定住意向を示す市民の割合：90.1% 本市を住みよと感じる市民の割合：81.5% 平成30年度当初予算：330千円
実績	前年度に実施した主要事業の実績や施策指標の推移について、8月に外部評価員による意見・提案等をいただきながら検証・評価を行い、9月に施策評価の結果をホームページにて公表するとともに、施策評価と事務事業実績測定の関連性の強化や、より適切な評価指標の設定へ向けた研究を進めました。また、定住促進の取り組みの一つとして、定住促進・人口誘導対策本部会議を設置し、課題把握及び対応策、情報発信の手法などについて検討を行いました。 ※実績値については、令和元年度末で確定。 平成30年度決算：163千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(2) 財政状況の客観的な検証・分析

方向性	将来にわたり安定した財政運営を進めていくため、本市の財政状況について外部の知見を取り入れた客観的な検証・分析を行います。
取り組み	外部有識者からの助言による決算状況の分析や検証に基づき、「枚方市の財政事情（第1部）」の見直しを行います。また、国の統一的な基準による財務書類の活用方法について適宜情報収集を行い、国が設定する財政指標を用いた他団体との比較分析などについて外部有識者からの助言をもとに検討を進め、同内容について、「枚方市の財政事情（第2部）」に反映します。

	平成 30 年度当初予算：50 千円
実績	外部有識者の助言をもとに、本市の決算分析手法（分析指標の妥当性・類似団体の抽出方法など）について検討を行い、毎年発行する「枚方市の財政事情（第 2 部）」において比較対象都市との他団体比較を行いました。また、10 月には本市の財政状況について共通認識を深めることを目的に、市職員と市議会議員を対象に枚方市の決算や公会計の分析指標の比較分析を内容とした講演会を開催しました。令和元年度も引き続き分析手法等の検討を行い、その内容を「枚方市の財政事情」に反映します。
	平成 30 年度決算：195 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	
	【 ○ 】

（3）ひらかたポイント事業	
方向性	市民・事業者等あらゆる主体との協働による、効率的・効果的な行政サービスの提供が求められている中、市の実施事業等へ参画した市民にポイントを付与し、市民の参画意欲の向上を図ることで、市民のまちづくりへの関心を高め、本市への愛着を深めるとともに、本市の魅力向上、地域経済の活性化につなげます。
取り組み	市が実施する市民の健康づくりの推進、高齢者の外出支援促進、ボランティア活動の活性化などにつながる事業に対し、ポイントを付与するとともに、協力店舗からもポイントを付与できる事業について、平成 31 年 1 月から運用を開始します。 《目標値》（平成 31 年度） カード保有者数 100 千人
	平成 30 年度当初予算：23,381 千円
実績	平成 31 年 1 月 15 日から運用を開始。第 5 次総合計画での重点的に進める施策から、健康・長寿・子育てに係る 7 つの事業でのポイント付与対応を開始しました（ひらかたカラダづくりトライアル、健康教室、高齢者運転免許証自主返納促進事業、離乳食幼児食講習会、子育て講演会、自殺予防対策事業（ゲートキーパー養成研修）、枚方市ファミリーサポートセンター）。
	協力店舗は、約 50 店舗での利用環境を整備し、運用開始以後、平成 30 年度末時点では約 80 店舗に増加しました。今後も協力店舗の拡大に努めていきます。 ※実績値については、令和元年度末で確定
	平成 30 年度決算：45,829 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	
	【 ○ 】

(4) シティプロモーションの推進及びまちの魅力向上に係るマーケティング

方向性	本市の魅力・知名度の向上やシビックプライドの醸成を図り、定住促進・人口誘導につなげるため、市民や大学、企業等との連携強化を目的としたプラットフォームを構築するとともに、民間事業者等の知見を活用し、新たな施策を企画・立案するなど、全体的・効果的なシティプロモーションの具体化に向けた取り組みを推進します。
取り組み	<p>①シティプロモーション推進プラットフォームの構築 市政への市民参加の機会拡充と、企業・大学等との連携強化を図るため、シティプロモーション推進プラットフォームを構築し、行政課題を共有するとともに、新たな施策の創出につなげます。</p> <p>②シティプロモーション推進業務委託の実施 本市の人口動態やアンケート結果等の分析も踏まえ、民間事業者の知見を活用し、定住促進・人口誘導につながる効果的なシティプロモーションを推進します。</p> <p>③マーケティングに関する外部有識者からの意見聴取 マーケティング技術を踏まえた多角度な視点から市政への助言を受けるため、外部有識者からの意見聴取を行います。</p> <p>④ひらかたプロデューサーズの運用 枚方を愛する『ひらかたプロデューサーズ』に、SNS を通じて本市の魅力情報を発信していただき、知名度の向上とシビックプライドの醸成を図ります。</p> <p>《目標値》（平成 31 年度まで） シティプロモーション推進プラットフォームで実施した取り組みの件数：10 件 ひらかたプロデューサーズの登録数：150 件 平成 30 年度当初予算：10,100 千円</p>
実績	<p>公民連携による行政課題の解決等を目的に、“シティプロモーション推進プラットフォーム”（一緒に考えてくれるなら）の運用を平成 31 年 2 月から開始しました。「子育て世代の定住や転入につながる空き家の活用方策」「枚方市 PR キャラクター ひこぼしくんの活用、PR 方策の提案」など、計 4 件の課題を公表し、事業者からの解決アイデアを募集しました。平成 31 年 3 月には、空き家の活用方策についての全体会議を開催し、参加事業者 9 社とともに意見交換を行いました。</p> <p>小学校 6 年生の児童・保護者を対象にした、住んでいるまちのことを考えるアンケートや、枚方市駅にて通勤・通学する市民を対象に、枚方への愛着を測るアンケート（枚方温度調査）を行いました。また、市外在住者に対して枚方市の印象を問うアンケートを実施するなど、有識者を交えた今後の効果的なシティプロモーションにつながる調査・分析を行いました。</p> <p>ひらかたプロデューサーズとともに市の魅力について一緒に考えるミーティングを計 2 回開催し、また、市の魅力を熱く PR するイベントであるシビックパワーバトルに参加しました。ひらかたプロデューサーズの登録者は平成 31 年 3 月末時点</p>

	<p>で 100 人を超えており、今後も連携を継続し、市の魅力発信を更に広げるとともに、ひらかたプロデューサーズが市政やまちへの関心、関わりを高める機会創出となるよう取り組みます。</p> <p>※実績値については、令和元年度末で確定</p> <p>平成 30 年度決算：8,908 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(5) ふるさと寄附金の推進	
方向性	<p>返礼品の拡充や市ホームページ等による効果的な情報発信に加え、本来の趣旨である本市の取り組みに共感し、寄附をしていただける取り組みを推進することで、さらなる財源確保及び地域産業の活性化を目指します。また、寄附者とのつながりを保つことで、住民でなくとも、本市に関心・愛着を持つ、いわゆる関係人口の増加を図ります。</p>
取り組み	<p>本市の取り組みに共感し、寄附をしていただけるように、寄附金の使い道や本市情報の効果的な発信、および PR 大使による体験型など魅力ある返礼品の拡充に取り組みます。また、ガバメントクラウドファンディングの導入など寄附者の裾野を拡大するための新たな取り組みの検討を進めます。</p> <p>《目標値》</p> <p>寄附額：2 億円</p> <p>返礼品の新規追加数 40 点</p> <p>平成 30 年度当初予算：200,000 千円（歳入合計）</p>
実績	<p>特徴のある新たな返礼品として、郵便局による「みまもりサービス」や体験型返礼品である PR 大使のたけうちひろさんによる切り絵ワークショップを追加しました。また、総務省によるふるさと納税に係る返礼品の見直し要請に対して、既存の返礼品の産地や返礼率などを精査し、取り扱いの見直しを実施するとともに、新年度に向け、新規 5 事業者の登録や約 100 品目の返礼品追加など準備を整えました。</p> <p>平成 30 年度の寄附額は 76,777 千円となりました。</p> <p>平成 30 年度決算：32,287 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 △ 】

(6) ワークプレイス改革の推進	
方向性	<p>全庁的な能率向上に関する取り組みを実践することで、人的・時間的リソースを捻出し、本来の業務に集中できる環境づくりや知識の共有化など、効率的な行政運営を通じた市民サービスの向上とワーク・ライフ・バランスの推進につなげることを目的として、「ワークプレイス改革」を実施します。</p>

取り組み	平成 30 年 4 月に庁内の中堅職員によるワークプレイス改革検討チーム員がまとめた「マイカタプラン～わたしの働き方がかわります」の報告を踏まえ、「会議のあり方の見直し」「職員相互の応援制度（人材バンク）の構築」「業務のスリム化」「ライフの充実」の 4 つを柱とした「ワークプレイス改革」に取り組みます。
実績	「ワークプレイス改革の実践ルール」を庁内に周知し、本部会議や庁内委員会の見直し、ペーパーレス会議の導入などの取り組みを順次実施しているほか、各部署が事務事業の改善へ向けてプログラムを策定し、各職場の実情に合わせた取り組みを推進しています。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(7) 民間活力（窓口業務委託等）の活用推進	
方向性	民間の持つ豊富な知識や経験の活用を図れるものや民間に委ねた方がより効率的・効果的な業務について、行政の役割と責任、市民サービスやコスト面への影響や、行政としてのノウハウの蓄積・継承等の観点を踏まえ、民間活力の推進に向けた検討を行います。
取り組み	民間活力を活用する対象業務や、アウトソーシングを行うにあたっての検討手法・手順など導入に向けた検討を進めます。
実績	業務の効率化、委託化を検討するにあたっての材料として、各業務の業務フローを作成しました。今後は、民間の知見も取り入れつつ、業務フローを活用した検討を行い、アウトソーシング化等に係る考え方をまとめます。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

2. 行政改革・業務改善

◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
1. 使用料・手数料の見直し	受益と負担の公平性の確保及び明確化を図るため、現行の施設の使用料や手数料の見直しに係る検討を進めます。
実績	施設使用料や手数料の基本的な考え方である設定基準の策定に向けた調査・検討を進め、課題や考え方の整理等を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
2. 来庁者・利用者用駐車場の有料化の実施	「来庁者・利用者用駐車場の有料化に関する考え方」に基づき、受益者負担や駐車場管理の適正化の観点から、順次、来庁者・利用者用駐車場の有料化に向けた検討を行います。

実績	<p>総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンター、中の池公園、王仁公園については、平成31年4月からの指定管理者の更新にあわせた駐車場有料化に向け、所要の手続きを進めました。</p> <p>また、上記以外の検討対象施設については、関係課会議を開催する等、施設ごとに駐車場の立地、形状、台数、利用状況や個別の事情等を踏まえ、有料化の可否や有料化の実現に向けた課題への対応策を検討しました。</p>
	<p style="text-align: center;">取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 △ 】</p>

改革課題	取り組み内容・目標
5. 公債費の抑制	減債基金（貯金）を活用した、地方債の繰上償還に適切に取り組みます。
実績	<p>地方債残高抑制のため、市債の繰上償還や発行抑制を行いました。</p> <p><繰上償還額> 平成30年度：450,167千円</p> <p><発行抑制額> 平成30年度：805,200千円</p>
	<p style="text-align: center;">取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>

改革課題	取り組み内容・目標
7. 特別会計・企業会計の経営健全化と一般会計繰出金の抑制	特別会計・企業会計への繰出金については、国が設ける基準及び、市独自の判断で行う基準外の繰出金において、その必要性を精査し、繰出金総額の抑制を図ります。
実績	<p>特別会計、企業会計については、各会計の経営計画および新行政改革実施プランに基づき、引き続き、適切な繰り出しを行いました。</p>
	<p style="text-align: center;">取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>

改革課題	取り組み内容・目標
12. 事務事業・補助金の見直し	引き続き「事務事業・補助金見直し計画」及び「事務事業・補助金見直し計画（平成29年度追加版）」に基づき既存事務事業・補助金の廃止、見直しなどに取り組みます。また、補助金については、終期を設定するサンセット方式の導入を進め、適正で透明性の高い制度運用を図ります。
実績	<p>平成29年度の取り組み以降、新たに見直しを行う事務事業・補助金について検証等を行い、「事務事業・補助金見直し計画（平成30年度追加版）」を取りまとめました。また、新たに創設された補助金にサンセット期日を設定しました。</p>
	<p style="text-align: center;">取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>

改革課題	取り組み内容・目標
13. マイナンバー制度の積極的活用	効率的・効果的な行政運営とさらなる市民サービスの向上を図る観点から、マイナポータルやマイナンバーの利用範囲の拡大等、マイナンバー制度の積極的な活用方法の検討を行います。
実績	マイナポータルやマイナンバーの独自利用等について、国や周辺市町村の動向を注視し、マイナンバー制度の積極的な活用を検討しました。また、マイナポータルの活用について関係課との調整を行い、マイナポータルの「ぴったりサービス（介護ワンストップサービス）」に、本市で実施している介護関連のサービス情報を掲載しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	平成 29 年度に策定した「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果に係る対応方針」に基づき、各外郭団体等の経営健全に向けた取り組み等を進めます。
実績	平成 29 年度に実施した外郭団体等の経営状況等の点検・評価に対する、各団体及び市の対応を取りまとめた「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果に係る対応方針」に基づき、取り組みを行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
20. 統一的な基準による地方公会計の整備	平成 29 年度に整備した国の統一的な基準による財務書類の活用方法について外部有識者からの助言などをもとに検討を進めます。
実績	平成 29 年度決算に基づき、一般会計等及び特別会計・一部事務組合等を含めた財務書類を統一的な基準により作成しました。また、国の統一的な基準による財務書類の活用方法について外部有識者からの助言などをもとに検討を進めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
40. 指定管理者制度の拡大	東部公園への指定管理者制度の導入に向け、取り組みを進めます。
実績	平成 28 年度に指定管理者制度を先行導入した生涯学習市民センター・図書館複合 2 施設（蹉跎・牧野）を含めた複合全 6 施設（楠葉、蹉跎、御殿山、牧野、津田、菅原）について、平成 30 年 4 月から指定管理者制度を導入しました。 また、東部公園については、ナイター照明設置後の野球場やドッグランの運営状況を把握するとともに、9 月に官民連携プラットフォーム公開サウンディング（近畿ブロック）に参加し、民間活力の活用による管理運営について意見交換するなど、指定管理者制度の導入について検討を進めました。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
41. 指定管理者制度における基本指針の策定及び運用	指定管理者の選定における競争性の確保など、これまでの制度運用における課題への対応方策や、制度導入から管理運営における基本事項を取りまとめた「枚方市指定管理者制度に関する基本指針」に基づき、引き続き、指定管理者制度の適正な運用を図ります。
実績	「枚方市指定管理者制度に関する基本指針」に基づき、十分な公募期間の設定等、競争性の確保に向けた取り組みを進めるとともに、施設の特性に応じた適切な選定基準の設定を行うなど、指定管理者制度の適正な運用に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
46. スリムで機動力を持った組織・業務執行体制の確立	部を中心とした、より効率的かつ機動的な業務執行を図るため、「事業部制」の導入について検討します。 あわせて、市政の重要課題等に組織横断的に対応するプロジェクトチームについて、機動力と実効性をさらに高めるため、機能の充実を図ります。
実績	事業部制及びプロジェクトチームの機能について、他市状況の調査等を行い、本市における事業部制の導入及びプロジェクトチームの機能充実に向けた検討を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
47. 業務改善制度の推進	業務改善制度「ぶらわん化、ぶらわん活動」に基づく取り組みを通じて、引き続き、庁内の活性化を図るとともに、職員の改善意識の向上を図ります。
実績	各職場における業務改善の取り組みの一層の推進を図るため、「業務改善研修」の実施、「平成 29 年度業務改善事例集」の発行を行い、職員の改善意識の向上を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
グループウェアを活用した業務予定の共有	職員の会議・出張等の予定について、グループウェアを活用して庁内で共有できるようにすることで、効率的な業務遂行・意思決定につなげます。

実績	グループウェアの「スケジュール」機能等を積極的に活用し、部内職員全体の予定を把握するだけでなく、庁内の会議等のスケジュール調整を行うことで、業務の効率化につなげることができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
ホワイトボードを使用した効果的な会議の実施	課内会議等においてホワイトボードを活用することにより、参加職員における課題・意見等の共有を容易にし、会議事項に対する理解を促進することで、議論の活性化に努めます。
実績	会議、打ち合わせ等でホワイトボードを活用し、参加者の意見をわかりやすく集約することで、参加者間の情報共有を図り、活発な議論を行うことができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
朝礼・終礼時の実施業務の共有化による効率的な業務執行	朝礼・終礼時において職員の業務執行状況や課題等を組織内で共有することで、効率的な業務執行を図ります。
実績	職員の業務執行状況だけでなく、情報共有が必要な事項について、朝礼、終礼を活用し課内で認識を深めることで、適切な業務執行につなげることができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆「枚方市新行政改革実施プラン（平成 28 年度～平成 31 年度）」の取り組みによる効果額について、平成 30 年度当初予算に一般会計で 5 億 1,053 万 9,000 円、企業会計で 2,842 万 6,000 円の反映を行いました。

実績	「枚方市新行政改革実施プラン（平成 28 年度～平成 31 年度）」に掲げる「自主財源の確保と受益者負担の適正化」「事務事業等の見直し・最適化」「行政の役割と責任を踏まえた効率的・効果的な行政運営」「スリムで機動力を持った組織体制の確立」の 4 つの改革の柱に基づき、行政改革の取り組みを進めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆部内職員一人ひとりが常に「効率化」を考え、業務の進め方を見直し実践することで、効率的な組織運営を図ります。

実績	職員一人ひとりがスケジュールや進捗管理を意識した上で担当業務に取り組むことで適切な事務処理を行い、業務全体の効率化に務めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆職員相互による新たな行政改革の取り組み課題の設定に向けた、積極的な企画提案や、業務の進捗状況・必要な知識の習得や認識の共有を行う場を設け、自ら考え行動する自律型職員の育成を図ります。

実績	事業・企画案等について、タブレットを活用し担当職員がプレゼンテーション形式で説明を行う機会を積極的に設けるなど、説明能力の向上を図るとともに、職員間で積極的に情報共有を行うことで、自律型職員の育成を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆予算編成過程等の公表

行政運営の最も重要となる予算編成や実行計画の進捗状況及び検証・評価の内容等に係る資料を公表するとともに、部の運営方針に示される重点施策・事業の進捗を年度途中でホームページにおいて公表し、市民との情報共有を進めます。

実績	予算編成過程となる査定状況を、市のホームページにて公表を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆行政改革の必要性、枚方市新行政改革実施プランの取り組み状況を「広報ひらかた」や本市ホームページへ掲載すること等を通して、市民にわかりやすい情報発信をタイムリーに行います。また、全庁的な取り組みとして推進している業務改善制度や職員提案制度について、職員向けに「業務改善 NEWS」や「業務改善事例集」、「職員提案 NEWS」を作成・発行するなど、積極的な情報発信を行います。

実績	行政改革の必要性や枚方市新行政改革実施プラン（平成 28 年度～平成 31 年度）の進捗状況等を発信する「枚方市の行政改革」を発行し、ホームページに掲載することにより、市民にわかりやすい情報発信を行いました。 また、業務改善制度や職員提案制度について、職員向けに「業務改善 NEWS」や「業務改善事例集」、「職員提案 NEWS」を作成・発行するなど積極的な情報発信をおこないました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	